

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 株式会社グリムス 上場取引所 東  
 コード番号 3150 URL <https://www.gremz.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中政臣  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 (氏名) 阿部嘉雄 TEL 03-5769-3500  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,375	50.3	2,825	15.0	2,885	15.2	1,904	△1.4
2022年3月期第3四半期	16,221	26.3	2,456	6.1	2,505	5.6	1,931	20.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,008百万円 (4.1%) 2022年3月期第3四半期 1,929百万円 (19.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	83.62	82.73
2022年3月期第3四半期	84.80	83.76

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,731	9,555	56.9
2022年3月期	13,617	7,968	58.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 9,514百万円 2022年3月期 7,939百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	14.00	19.00
2023年3月期	—	5.00	—		
2023年3月期（予想）				14.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,526	18.4	2,700	10.2	2,722	8.3	1,796	△16.8	78.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	23,490,800株	2022年3月期	23,490,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	712,729株	2022年3月期	712,697株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	22,778,087株	2022年3月期3Q	22,771,249株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により経済活動の正常化が進み景気に持ち直しの動きがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化懸念、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇など、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業につきましては、電力コストの高騰、脱炭素社会の推進に向けた再生可能エネルギーの活用拡大といった市場環境のもと、事業用太陽光発電システムの販売を強化するとともに、電力小売については、独自燃調（電力市場調達コストの一部を電気代に反映する仕組み）の導入と機動的な運用、市場価格連動型契約の促進により、電力調達価格変動リスクの低減といった取り組みをいたしました。また、需要が安定しているコスト削減・省エネルギー・再生可能エネルギー関連の商品・サービスについては、事業者向け・一般消費者向けのいずれも受注は好調に推移いたしました。なお、前年同四半期において投資有価証券の売却による特別利益の計上があったため、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては前年同四半期比減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は24,375百万円（前年同四半期比50.3%増）、営業利益は2,825百万円（前年同四半期比15.0%増）、経常利益は2,885百万円（前年同四半期比15.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,904百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

事業別の状況は、以下のとおりであります。

#### [エネルギーコストソリューション事業]

エネルギーコストソリューション事業につきましては、電力コストの高騰を背景に、電力の自家消費を提案する事業用太陽光発電システムをはじめ、事業者のコスト削減のための電力基本料金削減コンサルティングやIoT機器、省エネルギー化のためのLED照明・業務用エアコン・トランスなどの各種省エネ設備の販売を推進し、顧客に電力の運用改善・設備改善などの提案をしております。

その結果、売上高は5,029百万円（前年同四半期比34.4%増）、セグメント利益は2,226百万円（前年同四半期比38.8%増）となりました。

#### [スマートハウスプロジェクト事業]

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、脱炭素による再生可能エネルギーへの関心の高まりや、太陽光発電の10年間の固定価格買取制度の適用が終わる卒FIT案件の増加といった市場環境、住宅のエネルギーレジリエンス強化へのニーズにより蓄電池への需要があることから、蓄電池の販売を積極的に推進いたしました。

その結果、売上高は3,349百万円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益は550百万円（前年同四半期比36.1%増）となりました。

#### [小売電気事業]

小売電気事業につきましては、電力の調達改善を顧客に提案しております。また、独自燃調の導入や市場価格連動型契約の促進といった、電力調達価格の上昇に対するリスクヘッジ施策の効果により、当第2四半期累計期間にて発生していたセグメント損失を解消いたしました。

その結果、売上高は15,996百万円（前年同四半期比73.6%増）、セグメント利益は561百万円（前年同四半期比42.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は13,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,646百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が352百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,425百万円、商品が388百万円、未収還付法人税等が26百万円増加したことによるものです。固定資産は3,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ467百万円増加いたしました。これは主に機械及び装置が262百万円、ソフトウェア仮勘定が81百万円、敷金及び保証金が249百万円増加した一方、投資有価証券が62百万円、繰延税金資産が48百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は16,731百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,113百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ256百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が204百万円、1年内返済予定の長期借入金が416百万円、未払金が72百万円、契約負債が26百万円、預り金が27百万円増加した一方、未払法人税等が399百万円、未払消費税等が96百万円減少したことによるものです。固定負債は2,508百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,269百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が1,033百万円、繰延税金負債が46百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は7,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,525百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は9,555百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,587百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に係る四半期包括利益により2,008百万円増加した一方、剰余金の配当により432百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益がいずれも通期連結業績予想を上回っております。

通期連結業績予想につきましては2022年5月13日に公表いたしました業績予想を据え置いておりますが、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,517,147	5,869,644
受取手形、売掛金及び契約資産	4,057,122	5,482,893
商品	351,979	740,454
前払費用	88,178	96,680
未収還付法人税等	3	26,827
未収消費税等	82,665	—
その他	389,419	918,573
貸倒引当金	△13,330	△15,427
流動資産合計	10,473,185	13,119,645
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	99,375	90,907
機械及び装置（純額）	759,949	1,021,949
車両運搬具（純額）	21,127	25,319
工具、器具及び備品（純額）	90,812	82,092
土地	123,877	123,877
建設仮勘定	920	—
有形固定資産合計	1,096,062	1,344,146
無形固定資産		
ソフトウェア	12,530	9,192
ソフトウェア仮勘定	36,960	118,578
無形固定資産合計	49,490	127,770
投資その他の資産		
投資有価証券	1,540,722	1,478,331
繰延税金資産	132,804	84,159
敷金及び保証金	288,848	538,808
その他	36,328	38,257
投資その他の資産合計	1,998,703	2,139,557
固定資産合計	3,144,255	3,611,475
資産合計	13,617,441	16,731,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,406,380	2,611,322
1年内返済予定の長期借入金	457,700	874,014
未払金	405,236	477,924
未払法人税等	825,555	426,546
未払消費税等	275,290	179,038
契約負債	25,981	52,926
預り金	13,371	40,912
資産除去債務	—	3,850
その他	257	88
流動負債合計	4,409,774	4,666,624
固定負債		
長期借入金	1,163,080	2,196,708
繰延税金負債	—	46,317
資産除去債務	76,577	75,030
その他	—	190,703
固定負債合計	1,239,657	2,508,759
負債合計	5,649,431	7,175,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,874	640,874
資本剰余金	379,487	379,487
利益剰余金	7,409,768	8,881,600
自己株式	△482,249	△482,304
株主資本合計	7,947,879	9,419,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,562	△16,657
繰延ヘッジ損益	—	111,941
その他の包括利益累計額合計	△8,562	95,283
新株予約権	28,693	40,796
純資産合計	7,968,010	9,555,736
負債純資産合計	13,617,441	16,731,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	16,221,922	24,375,834
売上原価	11,011,874	18,865,170
売上総利益	5,210,047	5,510,663
販売費及び一般管理費	2,753,447	2,685,354
営業利益	2,456,599	2,825,309
営業外収益		
受取利息	36	21
受取配当金	2,310	29,817
受取手数料	20,310	33,338
助成金収入	36,130	524
その他	6,837	4,198
営業外収益合計	65,626	67,901
営業外費用		
支払利息	4,245	5,380
支払手数料	10,801	0
その他	1,736	2,298
営業外費用合計	16,782	7,679
経常利益	2,505,442	2,885,531
特別利益		
投資有価証券売却益	367,754	—
固定資産売却益	401	558
特別利益合計	368,156	558
特別損失		
固定資産除却損	5,763	2,812
固定資産売却損	1,348	789
特別損失合計	7,111	3,602
税金等調整前四半期純利益	2,866,487	2,882,487
法人税、住民税及び事業税	990,751	938,533
法人税等調整額	△55,357	39,337
法人税等合計	935,393	977,871
四半期純利益	1,931,094	1,904,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,931,094	1,904,616



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,931,094	1,904,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,424	△8,094
繰延ヘッジ損益	—	111,941
その他の包括利益合計	△1,424	103,846
四半期包括利益	1,929,669	2,008,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,929,669	2,008,462

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,743,098	3,265,172	9,213,650	16,221,922
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,743,098	3,265,172	9,213,650	16,221,922
セグメント利益	1,603,843	404,601	974,407	2,982,851

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,982,851
全社費用(注)	△526,252
四半期連結損益計算書の営業利益	2,456,599

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,029,048	3,349,859	15,996,926	24,375,834
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	5,029,048	3,349,859	15,996,926	24,375,834
セグメント利益	2,226,312	550,688	561,220	3,338,221

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,338,221
全社費用（注）	△512,911
四半期連結損益計算書の営業利益	2,825,309

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。